

地域に親しまれ信頼される医療をめざして

日立病院だより

URL : <http://www.hitachi.co.jp/hospital/kasado/>

謹賀新年 今年もよろしくお願いたします



当院に赴任して2回目の年男となります。その間いろいろな事態に遭遇しながらも、なんとか切り抜けてきたのは職員皆様のご協力のおかげだと感謝しております。2012年のスタートは院長不在の波乱の幕開けとなりましたが、私は日立病院を活力あふれる病院とするためには、ボトムアップが何より重要と考えています。決断を早くし、提案・挑戦していくことこそが、日立病院発展の鍵となると信じています。医師とのコミュニケーションを図りながら、どしどし提案していただくようお願いいたします。

(内科医 小林洋三)

～微小乳癌発見に魅せられて～
昨年嬉しかったことの一つに4mmの微小乳癌発見があげられます。病理標本は5mm刻みで切り出されますが、4mmだと5mm以下なので1枚だけが染まって見えます。それを見た時の感動は忘れ難いものがあります。具体的にはジャガイモを薄くスライスするとその中の1つだけにごく小さな虫くいが見える感じです、今年も同様、微小乳癌の発見に努めていきたいと思っています。皆様の来院心待ちにしています。

(外科医 池田昭彦)

平成23年を一言で締めくくると、良くも悪くも『激動の1年』であったと今つくづく感じています。東日本大震災は周知の事で、今も色濃く影響が残っていることは辛いことです。一方個人的には1月に悲しい別れがありました。その中で島根から山口への転居、縁あって4月からは日立病院での勤務。新しい生活には新しい出会いがあり、新しい出会いには新しい感動が一緒にやってきます。今年も辰年で年男ではありませんが、今年が『良い意味での激動の1年』になるよう気張ることなくマイペースでやっていこうと思っています。最後に一言

“頑張ろう日本！頑張ろう日立病院！”

(内科医 梅野哲弘)

私は今年還暦を迎えます。干支が生まれた時に還るので、また生まれ変わったつもりで頑張ってみようと思います。この年を大厄とも言って、大病をしたり思いがけない事故にあったりするそうですが、去年は自分の周りでたくさん不幸な出来事がありましたので、免除されるのではと勝手に思っています。自分が健康でないと患者様のために一生懸命働くことはできません。まずは自分が元気であること、そして時間を大事にして、これまで中途半端になっていた趣味を深めたいと思っています。皆様もまずは健康第一、良き年になりますよう祈念いたします。

(歯科医 白根忠)

年末年始は宴会等で、お酒を嗜む機会が増えていると思います。寒さも本格的になり、体調を崩しやすい時期ですので、健康に関しては十分お気をつけになってください。産業医、健診担当医として健康な方の検査結果を評価することが多い私ですが、前年度結果と比較して、翌年の結果が非常に良くなる方がおられます。「改善のポイントは？」と必ず尋ねておりますが、皆様口を揃えて「食事と体重に気をつけました」とおっしゃいます。昨年健康診断にてメタボ認定を受けた方は是非一年の目標として「脱メタボ」を掲げてみませんか？解決の鍵は「食事と体重コントロール」です。皆様が健康に過ごされることを願いつつ、わたしも「食事と体重」には気をつけていこうと思います。

(産業医 永岡紀子)

旧年中は格別のご厚情を賜り、ありがとうございました。平成22年4月より日立病院で診療させていただくようになり、早いもので2年が経とうとしております。当院歯科では、白根歯科部長の基本理念である「患者様に満足していただける診療」を一番の目標として日々研鑽に励んでおります。昨年はデンタルショーや歯周病学会などの各種研修にスタッフ皆で参加し、常に新しい情報を得られるように努めてまいりました。これからも最新の情報・質の高い診療を患者様に提供できるよう心がけてまいりたいと考えております。本年もより一層のご支援を賜りますよう、スタッフ一同心よりお願い申し上げます。

(歯科医 岸本亮義)



日立病院イベント



問題意識講座

～患者様ニーズに応えるために～

9月26日、27日、29日に47名が参加し、問題意識講座を開催しました。この講座の目的は、患者様のニーズに応える問題意識を育むことにあります。その為に必要な発想は、疑問の“なぜ”と願望の“ギャップ”です。又、患者様のニーズを掘り起こすための、質問の仕方についても学びました。



第3回 日立病院プレゼンテーション

プレゼンテーションの目的は、各科が改善や開発などを進めてきた内容を、プレゼンテーションの場を通じて、地域に発信していこうというものです。3回目の今回は、導入した装置のPR、好評のリフレッシュ健診報告、感染対策、歯科 CT 支援など4テーマの発表となりました。今回のプレゼン内容を、いろんな機会を通じて地域に発信していきたいと考えています。

【発表内容】

放射線科	インプラントCTのPR	萬屋紀子
臨床検査科	全自動免疫装置 cobas e の今後の展開	上村早苗
中材	現場に活かそう感染対策	伊藤直子
保健指導室	リフレッシュ健診、現状報告と今後	山本祥子

第2回 日立病院ICLS コース開催

2010年4月に赴任された、梅野先生がコースメディカルドクターの認定(救急医学会)を取得されていたので、第2回のICLS(2次救命処置)コースを開催することができました。11月12日土曜日9時から16時まで、受講生6名(医師1名・看護師5名)が2次救命処置の気道管理の方法と手技と介助・心電図の読み方と除細動器の取り扱い方等を勉強しました。指導スタッフとしては、院内より梅野先生はじめ浅海総師長、教育委員4名だけでなく、下松市消防本部より救急救命士3名と救急医学会認定インストラクターの周東総合病院看護師1名の総勢10名の指導者・補助者でコースを終了することができました。



第3回 BLS&AED 講習会開催

2009年より医療従事者として心肺蘇生が行えることを目的に年1回講習会を開催しています。

手順としては

- ①意識の認識→意識なし
- ②人を集める・119 通報と AED の依頼
- ③気道の確保→呼吸なし
- ④胸骨圧迫開始
- ⑤AED 到着・胸骨圧迫の手技のまま AED 装着・解析と胸骨圧迫の中断・電気ショック
- ⑥胸骨圧迫再開

率先して人命救助に参加する気持ちを持てるようにするための自信と、人の命を守りたいと思う気持ちを養うために今後も継続していきたいと思っています。

『AED は誰でも使えます。心臓疾患による突然死は、皆さんで防げます！』

親睦会バス旅行

～秋芳洞&見蘭牛を満喫～

毎年恒例のバス旅行、今年は7月9日(土)に秋芳洞、萩方面へ行ってきました。照明がリニューアルされLED化された鍾乳洞で幻想的な空間を楽しんだ後は、ミドリヤファームで見蘭牛の網焼きを食べました。そして最後は、萩八景遊覧船で水辺から萩城下を遊覧。



心も身体もリフレッシュされた楽しい1日となりました。



夜間を想定した防火避難訓練

～下松市消防署の訓練検証に合格～

11月30日、下松市消防署立ち合いのもと、夜間を想定した防火避難訓練を実地しました。4階405号室を火点と想定し、夜間防火指導マニュアルに沿って初期消火、患者救出を行い、素早く避難を完了する事が出来ました。消防署による訓練検証にも合格し、12月8日、「検証合格証」を授与されました。

